

# 関西学院大学新聞

2025年12月25日 第871号



■発行■

関西学院大学新聞編集部  
〒662-0891  
西宮市上ヶ原一番町1番155号  
HP: www.kgpress.jp  
X: @KG\_shinbun  
Instagram: kg\_newspaper\_club

## クリスマスツリー点灯式 暖かな夜に光灯す

関西学院は12月1日、西宮上ヶ原キャンパスの中央芝生でクリスマスツリー点灯式を開催した。時計台前のヒマラヤスギが光を灯す瞬間を見届けようと、中央芝生には約2000人が集まった。会場では無料のキャンドルが配布され、式典の前に観客同士で火を分け合う様子が見られた。

打樋啓史宗教総主事による聖書朗読の後、観客のカウントダウンに合わせてライトが点灯した。暗夜に美しいクリスマスツリーが浮かび上がり、歓声が上がった。

高校からの友人と訪れた中尾ゆほびさん（総合政策学部1年）は、「初めて見たのでわくわくした。関学らしい雰囲気を感じた」とこやかに語る。

友人らとサンタクロースの帽子をかぶり、白い袋を持って参加した白石権さん（商学部1年）は、「買いたがったエナジードリンクを、会場に訪れた人々に配っていたという。白石さんは「クリスマスらしいことをして人を喜ばせた



点灯するクリスマスツリーと時計台＝12月1日、西宮上ヶ原キャンパス、八島みのり撮影

かった。とても楽しかった」と満足げに笑った。  
クリスマスツリーは12月25

日まで毎日、午後4時30分から午後10時30分まで点灯する。（八島みのり）

## 満月よりも輝く瞬間を 新月祭 2025



新月祭の様子＝11月2日、西宮上ヶ原キャンパス、田爪翔撮影

関西学院大学祭総部新月祭実行委員会は、11月1日と2日、西宮上ヶ原キャンパスで新月祭を開催した。昨年とは打って変わって西日とも天候に恵まれ、来場者数は2日間延べ5万人を超えた。これに先立ち行われた神戸三田キャンパスと、西宮聖和キャンパスの来場者を併せる

今年度は、模擬店への出店数が過去最多となったほか、模擬店グランプリやイルミネーションなどのイベント、さらには、日本の男性5人組ヒップホップグループである、noobknowによるライブも行われ、関学生のみならず、若男女がコロオドルひとときを過ごした。

（山下結大朗）

関連記事は2、3面



2, 3面

井村屋G大西安樹社長



4, 5面

と、延べ6万1千人を超え、昨年来最大規模の大盛況を収めた。

今年のテーマは「満月よりも輝く瞬間を」。これは、「大学生生活で、そしてその先の人生において、一番に残る瞬間があつてほしい。仲間と過ごすその瞬間が、満月よりもまぶしく輝くように」との願いをこめて作られたキャッチコピーだ。

1993年に公開されたアメリカ合衆国の映画に『クル・ランニング』がある▼ボブスレーで冬季オリンピックに初出場を果たしたジャマイカチームの実話をもとに描いたスポーツコメディ映画だ▼陸上でのオリンピック出場がかなわなかった4人の青年が、悔しさを晴らすために集まった即席のチームとあつてボブスレーで金メダルを獲得したアメリカ人コーチがぶつ

かり合いながら猛特訓を重ねていく▼ボブスレーを通じて性格の全く違う4人が、お互いを理解し合い絆を深める中で明らかになる、コーチが現役時代に金メダルを獲得するため犯した不正▼チームは「勝つこと何なのか」という問いを突き付けられる。過去の不正を知った戸惑いと、笑いにされる現実の中で、強いチームの真似をして張り合うより、自分たちの走りを書く方が誇れるのではないか。そんな思いがチームの中で芽生えていく。そして、それこそが「クル・ランニ

### 能登とのつながりを継ぐ

### 関学生団体が能登の秋祭り参加

関西学院大学の学生11人が9月20日、石川県七尾市豊川地域でボランティア活動を行った。

豊川地域は能登半島地震の被災地で、関学が学生とともに活動してきた地域のひとつ。参加した有志らは災害復興を継続的に支援していくため、災害ボランティア団体「rel@y（リレイ）」を立ち上げた。団体名は「繋ぐ」を意味する「relay」と「関係」を表す「relation」を組み合わせたものだ。

学生たちは現地で開かれた秋祭り「六保祭」に参加した。六保祭は1年の五穀豊穡に感謝する伝統行事で、地域7地区の住民が杵杵やみこしを担いで日吉神社を巡る。学生も住民とともにみこしを担ぎ、太鼓を叩くなどして祭りを盛り上げた。みこしを初めて担



活動の様子＝同団体提供

いた学生は、その重さに驚きながらも楽しんでた。

住民の方は祭りを終えて「学生のみなさんが来てくれたおかげで規模を大きく開催できた」と笑顔で話した。

リレイ代表の山川晃生さん（経済学部2年）は、今回で5回目の能登訪問だ。山川さんは「地域の方々が温かく迎えてくださり、旗を担がせていただいた時は重さを忘れるほど楽しい時間を過ごせました。これからも継続的に能登を支援できるよう努めたいです」と語った。（田爪翔）

### Mastery for Service 羽ばたけ、世界市民

神戸市宮住宅・兵庫県宮住宅ほか  
電気設備保全会社 畑中電気合同会社  
〒653-0834  
兵庫県神戸市長田区川西通5丁目107番地の8



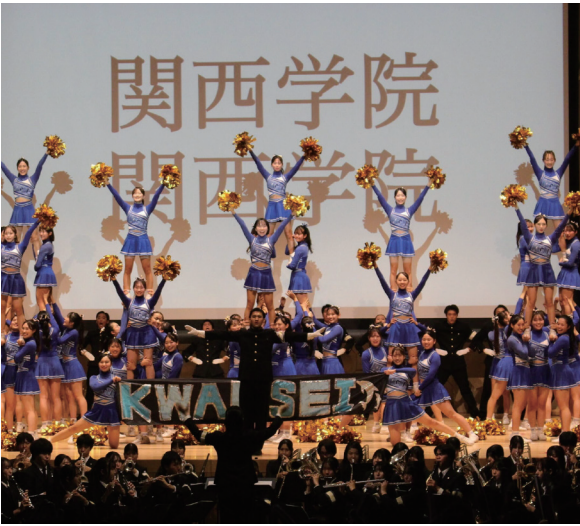


# 新月祭2025特集

## 2025年応援団総部祭

### 未来へ想いを繋ぐ

関西学院大学応援団総部は11月1日、西宮上ヶ原キャンパス中央講堂で「新月祭2025応援団総部祭」新月旗の下に〜を開催した。第79代応援団総部の団目標は「遙」という1文字だ。今



公演する応援団総部＝11月1日、西宮上ヶ原キャンパス中央講堂、八島みのり撮影

年度の総部祭のテーマである「遙か高みへの飛躍」には、過去から未来へ想いをつなぎ、成長と挑戦を続けるという想いが込められた。総部祭は、応援団総部を構成する指導部、吹奏楽部、チ

アリーダー部の3部が揃って演舞・演奏する舞台であり、会場に訪れた多くの人が、2時間40分に及んだ公演を楽しんだ。

応援団総部は、「新月旗のもとに」や「Fight ON Kwansei」などの関学大を象徴する応援歌で会場を盛り上げた。また、新応援歌である「弦月さゆる高台に」を披露した。

チアリングオンステージでは、指導部とチアアリーダー部の部員が観客の目の前に現れ、いっそう盛り上げた。観客も大きな声で応援歌の「コール」に参加し、会場は一体となった。

最後は第79代団長渡部裕太さん（文学部4年）が校歌「空の翼」を指揮し、集大成にふさわしい演舞を見せた。アンコールステージでは、4年生への感謝を伝えるスライドショーを背景に再び応援歌を披露し、今年度の総部祭は幕を閉じた。（八島みのり）

## 「青春」を描く！ 書道部パフォーマンス

新月祭では、書道部による書道パフォーマンスが中庭で披露され、多くの学生が足を止めて見守った。部員たちは袴を着て音楽に合わせて、紙面を移動しながら、十数分かけて今年のテーマである「青春」の作品を書き上げた。中央の淡い桃色と周囲の青い線が目を引き、最後に大きく書かれた「刹那即永劫」の文字が作品を締めくくった。

今回のパフォーマンスには、1年生5人と2年生5人の計10人の部員が出演した。初めて舞台に立った木村美月さん（法学部1年）は「練習が辛い日とか、夜遅くまで練習が続く日もあったけれど、2年生の先輩方のおかげで前向きに頑張ることができました。本当にこの毎日が私の宝物です」と振り返った。パフォーマンスメンバー及



書道部のパフォーマンス作品  
11月2日、渡邊暖彦撮影

び指導役として参加した白神凜音さん（法学部2年）は「ほとんどの1年生が初めてだったので、どう教えたら良いかすごく不安だった。けれど、言ったことをみんながすぐ覚えてやってくれたり、案を出し合ったりして、今日まで練習してきました」と述べた。作品が立ち上がり「刹那即永劫」の文字が姿を見せると、積み重ねてきた練習の成果が伝わり、大学祭の一場面として印象に残るものとなった。（範沢 衆）

## 伝えたい

### 経済学の面白さ

図 斎ゼミ

「ゲームで体験するエコノミクス」は、経済学部でゲーム理論を研究する図斎ゼミが掲げた新月祭のテーマである。新月祭では、C号館でカードゲームイベントが開催された。

経済学のモデルであるシミュレーションは、経済学でゲーム理論を研究する図斎ゼミが掲げた新月祭のテーマである。新月祭では、C号館でカードゲームイベントが開催された。

な面持ちでカードゲームを楽しんだ。図斎ゼミに所属する学生の1人は「自分の学んでいる経済学が社会問題の解決の糸口となる」と専門演習の魅力を語った。また、「新月祭は多くの方に経済学の魅力を知ってもらう貴重な機会だ。数学が苦手な方でも楽しめるようなゲームを作った」と新月祭



図斎ゼミ生考案カードゲーム

の企画に対する思いを話した。（杉谷拓樹）

## 漫画の魅力を伝えたい！ 田田楽楽漫画同好会

田田楽楽漫画同好会は漫画を自主制作している関西学院大学公認サークルだ。新月祭では、過去10年で制作したオリジナル作品やイラストを展示した。来場した人はチャタリングな作品を味わった。



展示された作品の数々11月1日、杉谷拓樹撮影

部員の1人は「コロナ禍明け初めて新月祭に出展した大変なことも多かったが、部員みんなで乗り越えた。漫画の魅力を沢山のの人に伝えたい」と語った。（杉谷拓樹）

## 早押しクイズ大会 今年も開催

### クイズサークルQWIC

実際にボタンを押して参加できる本企画は老若男女問わず好評であり、2023年から3年続けての出展となった。両日とも学生グループや子ども連れの家族で賑わった。

クイズサークルQWICは11月1日と2日、西宮上ヶ原キャンパスで行われた新月祭で早押しクイズ体験会を開催した。両日とも学生グループや子ども連れの家族で賑わった。家族で体験会に参加した渡辺くらさん（18）は、「最後に答えられて気持ちよかったです」と満足げに話した。くらさんの母親、由紀恵さんは、「やる気なく参加したのに気が付いたら、白熱していた」と笑顔を見せた。早押しクイズの大会は学生が主催するケースがほとんど（八島みのり）



早押しクイズ体験会の様子11月2日、八島みのり撮影

## 思いを込めて

### 絵画部弦月会

個性的な作品の数々、あつと驚く表現技法、作品に込められた熱い思い。絵画部弦月会は11月1日と2日、西宮上ヶ原キャンパスで開かれた新月祭で「GENGETSU・ART・FESTA」を開催した。



展示作品の一部11月1日、杉谷拓樹撮影

展覧会では、作品展示やアートグッズの販売も行った。作品は日常の一場面を切り抜いた作品や幻想的な作品、複雑で難解な作品など多種多様で、どれも魅力的だ。来場者は作品をじっくり鑑賞し、テーマについて議論していた。

部員の1人は「今回はテーマ、画材ともに自由で、作品に個性が強く現れている。自分の感性に合う作品を探して



## 新月祭2日間に彩りを 総部放送局

総部放送局は、1日に日号館の一室にて屋内イベントを、2日には中央芝生にて屋外イベントを開催した。

1日の屋内イベントではオリジナル映画「Cruise of Surge」欺きと逆転の航海―を上映した。公安のスパイたちが豪華客船内のパーティーに潜入し、主催者の宝を犯罪組織から守る、という物語だ。

制作した映画をただ上映するだけでなく、役者が観客の前に度々現れ、生演技をする演出も見られた。観客と直接話す場面もあり、そのやり取りに会場は大きく盛り上がった。また、物語終盤では公安と犯罪組織とのアクションも繰り広げられた。

総部放送局の前局長、小西未来士さん（経済学部4年）も繰り広げられた。



屋内イベントのメンバー総部放送局提供

## もっとルーツを根付かせたい

### KG LINKS

学生サークル「KG LINKS」は、模擬店「コリアンぽちゃ4世」で、ブレインチーズ、キムチの3種類のチヂミを販売した。

KG LINKSは、朝鮮半島にルーツを持つ在日コリアンの学生が集うサークルだ。

新月祭への出店は今回が初めてで、自らの活動や在日コリアンの存在をより知ってほ

うまうまいかず、心配ばかりだった。本番が一番良かったと笑顔を見せた。

2日の屋外イベントでは、エンターテイメントショー「KGB the escape」を開催した。会場には老若男女多くの人が集まった。

イベントは二部構成で行われ、前半には総部放送局の演者らによるライブショー、後半にはゲストのマジシャンによるマジックショーが披露された。

ライブショーのあらすじは、テレビ局に仕掛けられた爆弾を、犯人から与えられたクイズやゲームに挑戦して解除し、生き延びて脱出するというものだ。

クイズは計6問出題されたが、それぞれの答えが犯人を示すヒントとなっていた。ライブショーで、ディレクターヘッドを務めた小野田裕紀さん（経済学部2年）は、「クイズはすべてオリジナルで、



ライブショーのあらすじは、テレビ局に仕掛けられた爆弾を、犯人から与えられたクイズやゲームに挑戦して解除し、生き延びて脱出するというものだ。

ディレクター全員で話し合っただけで作った」と振り返った。

マジックショーでは、マジシャンの晴貴さんがマジックとジャグリングを披露し、成功する度に観客からは拍手が送られた。晴貴さんは「これだけのお客さんに盛り上がりいただけたので、すごく楽しかったです」と笑みをこぼした。

総部放送局は普段、お昼休みにニュースや音楽を学内に放送している。人々を笑顔にする総部放送局の放送に日々耳を傾けたい。

（高尾亮太・八島みのり）

## 子供たちでにぎわう 運転体験と展示 鉄道研究会

新月祭で恒例となった鉄道研究会の展示企画は、今年も多くの来場者でにぎわった。

会場では実際に使われた鉄道関連の物品の展示や鉄道模型の運転体験、さらには電車の運転シミュレーターコーナーも設けられ、特に子ども連れの家族から人気を集めた。

部員が所有するコレクションも公開され、熱心に見入る姿が見られた。

部長の木藤瑞人さん（社会学部3年）は（鉄道研究会は）普段から活発に活動している部ではないが、新月祭は1年



会場の様子

でいちばん大きな行事。ここを通して新入生に存在を知ってもらえたり、鉄道好きの子どもたちと交流できたりするのがうれしい」と語る。今年はずっと向けの体験企画を中心に据え、参加者が過剰しやすい環境づくりに努めたという。

「子どもたちが楽しめる場として続けていきたい」と木藤さん。来場者の傾向を見ながら、会場づくりや展示内容の工夫を重ね、来年以降も継続して企画していく考えを示した。

（田川翔）

## 新月祭2025

### in西宮聖和キャンパス

西宮聖和キャンパスの新月祭（11月8日・9日開催）は、乳幼児保育センターや幼稚園が近いという立地を生かし、小さな子ども向けのイベントが目立った。

2号館2階206教室では家族連れを対象に「聖わくわく冒険島」を開催した。参加料金は無料で、子供たちがスタンプを集めて景品をもらうために千本引きや射的など計8種類の様々な遊びに挑戦した。また、グラウンドに設置した「ふわふわパーク」というエア遊具で遊ぶ子どももいた。

（ソフフィヤン）さん（総合政策学部4年）は「引き続き自分たちの活動を広め、日本人学生とさらに交流し、大学公認のサークルにしていきたい」と今後の目標を語った。

イベントに子どもも参加した西宮市在住の垣尾英児さんは「チラシをきっかけに初めて来たがとても（企画内容が面白い）と笑顔で語った。イベントに負けず、模擬店も大盛況だった。

オリジナルサンドのお店を出店していた高井由起子ゼミの前田珠和さん（教育学部3年生）にお話を伺った。

高井ゼミは昨年ゼミの先輩たちが出店していたことから、「今年もゼミを盛り上げたい」との思いから出店を決めたという。メニューはサブウェイのように自分好みにカ



高井由起子ゼミ出店の様子＝11月8日、久保田創士撮影

スタマイズできるもので、パンや具材、ソースから無限大の組み合わせで子どもから大人まで楽しめる内容になっていた。

「2日目は雨で心配だが、コック帽を被って、しっかりと

イベントに負けず、模擬店も大盛況だった。

多くの子どもたちでにぎわった、西宮聖和キャンパス新月祭。子ども2人と訪れた山内みゆきさんは「子ども2人も楽しめていて、また来年も来させてもらおうと思います」とほほえんだ。

（久保田創士・辻本灯）

## 学んで実践！ SDGs

### KG SDGsキャンパスサポーター



机に並ぶリユース作品＝11月1日、杉谷拓樹撮影

関西学院大学サステナビリティ推進本部公認の学生団体、KG SDGsキャンパスサポーターは、SDGsを広く周知し実践することを目的として活動している。

新月祭では、リユース製品を無料で提供する活動を行った。古着や古本、古文房具など様々なものが並んだ。これはSDGsの目標12「つくる責任つかう責任」に関する取

り組みだ。SDGsを学べる展示や体験ブースも設置された。体験ブースでは、楽しみながらSDGsを学べるクイズに挑戦できる。

サポーターのひとり「SDGsを身近に感じてほしい。日常生活で何ができるか考え、実践することが大切」とコメントした。SDGsの達成には、日々の積み重ねが重要だ。

（杉谷拓樹）



# 商品を通じてお客様を笑顔に

## 井村屋グループ 大西安樹社長

長年多くの人に支持されてきた「あずきバー」や「肉まん・あんまん」。これらを製造する井村屋などを傘下に束ねているのが、井村屋グループ株式会社だ。弊部は関西学院大学法学部法律学科のOBで、井村屋グループ株式会社代表取締役社長（CEO兼COO）である大西安樹氏にインタビューを行った。

大学時代

1年の刑法のゼミと4年の民事訴訟法の授業は今でも思い出しますね。まあ勉強はし

なかった部類ですかね。仲間と徹夜で麻雀して、朝一緒に釣りに行ったりはしました。1匹も釣れずに帰りましたけど。

当時の井村屋製菓に入社した理由

進路について特に考えていませんでしたが、メーカーに行きたいと思っていました。自分が働いたことによる社会への貢献が形になった方がいいのかなど当時は考えていました。

「コロナ禍以降業績が向上している理由

業績は前年、その前にどういう準備をしたかということに繋がっていると思っています。例えば、新しい工場を作るといった設備投資が成果として出てきたと言えます。また、社員に頑張ってもらっているという事です。

2024年度から始まった中期計画「Value Innovation 2026」の狙いと現状

単年度計画の前に中期計画というのを策定して、それを毎年、ローリングしながら経

営をしています。今回、中期計画を立てた際には、それ以前に大型投資をしていました。よって今回の中期計画はその投資の成果を表すとともに、その先に向けた成長のための投資ができるように財務体質を強固にするターゲットと捉えていました。1年目に計画した数値は達成しておりまして、2年目の上半期も達成しておりますので、ちょうど半分が経ったところですが、数字上は達成できています。ただ、残りの半分の期間

については、経営環境が少し変わってくるのではないかと捉えているので、1年半後、これまでのように順調に計画を達成できるかは不透明ですね。

今後の経営の展望

成長を図るという点においては、既存事業を強化していくことがひとつの大きな策です。既存の「あずきバー」や「肉まん・あんまん」は順調に伸びており、現在、「あずきバー」の新しい工場を建設中です。また、「肉まん・あんまん」は「包む」という今の技術を活かして、飲茶など横に広げることが出来る商材と捉えています。一方で、次の「あずきバー」を作るという新規の取り組みが必要になります。新しい事業と既存の事業の強化を一緒に進めていくことが大切であると思っています。

社会の中での井村屋の在り方

パーパスという言葉をご存知だと思います。この会社は何のために存在しているのですかということです。私も井村屋グループは「おいしいーの笑顔をつくる」というパーパスを掲げています。お客様に商品を通じて笑顔に

なっているという点においては、既存事業を強化していくことがひとつの大きな策です。既存の「あずきバー」や「肉まん・あんまん」は順調に伸びており、現在、「あずきバー」の新しい工場を建設中です。また、「肉まん・あんまん」は「包む」という今の技術を活かして、飲茶など横に広げることが出来る商材と捉えています。一方で、次の「あずきバー」を作るという新規の取り組みが必要になります。新しい事業と既存の事業の強化を一緒に進めていくことが大切であると思っています。

「あずきバー」をさらに広



大西安樹社長＝11月17日、井村屋グループ株式会社本社（三重県津市）、山下結大朗撮影



代表商品のあずきバー＝井村屋グループ株式会社提供

「あずきバー」は「包む」という今の技術を活かして、飲茶など横に広げることが出来る商材と捉えています。一方で、次の「あずきバー」を作るという新規の取り組みが必要になります。新しい事業と既存の事業の強化を一緒に進めていくことが大切であると思っています。

社会の中での井村屋の在り方

パーパスという言葉をご存知だと思います。この会社は何のために存在しているのですかということです。私も井村屋グループは「おいしいーの笑顔をつくる」というパーパスを掲げています。お客様に商品を通じて笑顔に

なっているという点においては、既存事業を強化していくことがひとつの大きな策です。既存の「あずきバー」や「肉まん・あんまん」は順調に伸びており、現在、「あずきバー」の新しい工場を建設中です。また、「肉まん・あんまん」は「包む」という今の技術を活かして、飲茶など横に広げることが出来る商材と捉えています。一方で、次の「あずきバー」を作るという新規の取り組みが必要になります。新しい事業と既存の事業の強化を一緒に進めていくことが大切であると思っています。



のサンプリングを東名阪中心に実施しています。

「あずきバー」以外の商品  
ネクスト「あずきバー」は  
何だという中で、最近、よう  
かんが伸びています。防災用  
のようかんやエネルギーを補  
給することができる「スポー  
ツようかん」など若い世代の  
方にも手にとっていたくださ  
い商品を提供させていただ  
いております。また、アイ  
スクリームにおいては、「やわ  
もちアイス」が育つてきてい  
ます。中心になる一種類の商  
品と季節限定商品を展開して  
います。その他にも、あずき  
の缶詰で「ゆであずき」とい  
う商品が出ているのですけ  
ど、こちらも業界の中では  
トップのシェアになっており  
ます。「やわもちアイス」な  
どをスーパーで若い世代に  
買っていただいているのを見  
ますと嬉しいですね。

て、そのときに当社にお声掛  
けいただいたという経緯で  
す。当社は「肉まん・あんま  
ん」の生地を発酵させる技術  
はあるのですが、それとは違  
うお酒の発酵の技術はなかつ  
たので、新たなプラスの要素  
にしようと思入しました。先  
日行われた名古屋国税局の酒  
の鑑評会で、56の酒蔵が出品  
した中、1位の賞をいただき  
ました。これは大変嬉しいこ  
とでした。

三重県多気町にある「V  
ISON」という施設でお酒を  
出すという構想がありまし

簡単にエネルギー補給ができるスポーツようかんあずき―井村屋グループ株式会社提供



やわもちアイスパナリ―井村屋グループ株式会社提供

の啓発をするイベントを開催  
何かしら次の成長に向けた  
きっかけとするための取り組  
みとして万博に関わりまし  
た。そこでライセンス商品を  
販売したり、イベントを開催  
したりして、当社の中心的な  
位置付けであるあずきを来場  
された皆さんに知ってもらえ  
るようになりたい。成果  
としては、ライセンス商品の  
売り上げはほぼ計画通りでし  
たし、あずきの認知を高める  
イベントには、本当に多くの  
方に参加をしていただきまし  
た。ライセンス商品を展開し  
ていく中で、今まで取引のな  
かった販売先と関係性ができ  
たことも、今後のプラスにな  
ると思います。

―大阪・関西万博では公式ラ  
イセンス商品の販売やあずき  
―大学での学びで今に生きて  
いること  
僕自身の法学部でやってい  
たことの中で言うと、法学に  
は帰納法と演繹法の両方が必  
要だと思つたのです。例え  
ば、答えを先に出して、その  
答えに行くためのプロセスを  
求める。一方で、状況全体を  
網羅しながら一つの結論を導

大西社長経歴  
会社概要はこちら



(聞き手・仲悠士)

OBが社長をやっている会  
社だなと思いついていただい  
たらと思います。

―井村屋について関学生に向  
けて

―学生へのメッセージ  
学内のことも、それ以外  
のことも、学生時代にでき  
ることばやってみてほしいで  
すね。学生時代にしかできな  
いことってあると思います。  
それが何なのかを自分で見つ  
けて、それに取り組んでいた  
だけならいいのかなど。社会  
人になったら長い休みがない  
ですからね。

く。当時はそういうことは考  
えてなかったけど、両方とも  
法学部で自然と身につけまし  
た。それを全部活かしている  
わけではないですよ。そうい  
うような考え方はできるよう  
になったかなとは思っています。

# こだわりの ゴールドシリーズ



GOLD PREMIUM

井村屋

ピザまん

濃厚トマト・賞状トリプルチーズ

2コ入

要冷凍

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ

賞状トリプルチーズ



部室  
だより  
絵画部弦月会

100年以上の歴史を紡ぐ

絵画部弦月会は大正4年から続く歴史のある部活だ。数多くの画家やデザイナーを輩出した一方で、絵画技術を指導する教員はいない。部員同士で技術を共有し、意見交換をすることで技術を磨いているのだ。

活動のほとんどはキャンパスに出迎えられる。色鮮やかで個性的な作品の数々は、どれも魅力的で甲乙つけがたい。天井は高く、窓から差し込む日光が幻想的だ。

絵画部弦月会には56名の部員が所属しており、精力的に活動している。副部長の米田美月さん（法学部3年）は部活動の魅力について「自分の好きな時に好きなように活動

ができる。部員やOBとの交流を通じて、絵画の面白さ、楽しさに気付くことができたと語った。大学生から絵画制作を始める部員も多く、米田さんもその1人だ。

油絵やアクリル画、デジタル画にペン画と多種多様な作品を制作している。「Liminal Space」は部長の小松心優さん（社会学部3年）の作品だ。心優さんは「どこかで見たことがあるように、実際には存在しないハザマの空間を描いた。懐かしさと不気味さの両方を感じられるような作品を目指した」と説明した。

「うどん温泉」は小松優良さん（社会学部3年）の自



絵画部弦月会アトリエ（左）＝杉谷拓樹撮影、Liminal Space（右上）＝小松心優さん提供、うどん温泉（右下）＝小松優良さん提供

信作だ。「観客が温かみを感じられるような作品を目指した。また、この作品に使ったキャンバス120号は高さが2m近くある。制作中に多くの苦勞や試行錯誤を経験したがとても楽しい時間だった」と優良さんは振り返る。

12月には弦月会展という展覧会を開催する。部員は準備に大忙しだ。思いのこもった作品を鑑賞することできる貴重な機会だ。（杉谷拓樹）

ファイターズ関西学生リーグ  
制覇  
昨年優勝立命館大を破る

7年ぶりの日本一を目指す

体育会ラグロス部女子は11月30日、たけびスタジアム京都（京都市京区）で行われた第16回ラグロス全日本大学選手権大会の準決勝戦に出場した。2018年以来7年ぶりの優勝を目指す関学大は立教大学と対戦し、8対5で勝利した。関学大は12月21日にスピアースネーブルクワールド（東京都江戸川区）で行われる決勝戦に駒を進め、日本体育大学と対戦する。

スタンドでは応援団総部を中心に、たくさんの関学大サポーターが選手に声援を送った。その応援を力に、関学大は序盤から猛攻を見せた。

関学大はアタック（ATT）の井出歩未選手（人間福祉学部4年）が先制点を挙げ第1クォーターを4対0でリードし流れを掴んだ。第2クォーターでも2点を追加し、6対0でハーフタイムを迎えた。

関学大はゴリー（G）の鶴長紗耶選手（教育学部4年）を中心とした堅実な守備も光った。第3クォーターで立教大がタイムアウトを取った後、守備の時間が続いたが、鶴長選手のセーブや素早い攻守の切り替えによって、ゴールを守り抜いた。

しかし、第3クォーターから流れが変わり、1点を返される。第4クォーターでも開始直後に3点を返され、関学大はタイムアウトを取った。タイムアウトによって、関学大は相手の反撃ムードを断ち切り、2点を追加して勝利を収めた。

4得点を挙げた井出選手は、「1対1というところを常に練習でもこだわってきたので、それが本番で発揮できて良かったと思います」と語った。また、決勝戦に向けて、「決勝で絶対に勝ち、日本一という形で、今まで支えてくださった全ての方々に恩返ししたいと思います」と意気込んだ。（仲悠士）

体育会アメリカンフットボール部ファイターズは11月9日、万博記念競技場（大阪府吹田市）で行われた関西学生アメリカンフットボールリーグ第7戦に出場した。試合前はリーグ内順位2位であった関学大は1位につけている立命館大学と対戦。24対3で直接対決を制し、6勝1分、5年連続62回目のリーグ優勝を果たした。

今回の勝利により、関学大は関西1位として全日本大学選手権に進出し、23年以来的の王座奪還を目指す。

試合は立命館大の攻撃で開始した。ファイターズのディフェンスラインは陣地を堅実に守り、少ないプレーで攻守を切り替えた。しかし、立命館大側も一歩も譲らず互いに動きのないまま第1クォーター（Q）を終えた。

膠着状態が続く第2Q終了間際、攻撃権の回ってきたファイターズが勝負に出た。クォーターバック（QB）の星野太吾選手（社会学部2年）を起点にパスを回し、フィールドゴール（FG）圏まで陣地を進める。続いてキッカー



タッチダウンを決めて喜ぶ選手ら＝11月9日、万博記念競技場、八島みのり撮影

の大西悠太選手（社会学部4年）がFGを決め3対0で前半終了。

この得点から流れがファイターズに傾いたのか、第3Qは序盤からダウンを更新し続け相手ゴール11ヤードまで迫る。そのまま星野選手が駆け抜け、最初のタッチダウン（TD）に成功、10対0にリードを広げる。勢いは止まらず5分後にはランニングバック（RB）永井秀選手（社会学部2年）が36ヤードのTDラン、キックも決まって17対0。第4Q終盤も攻撃の手を緩めることなく、星野選手が2度目のTD、守備に目を向けても完璧に近く、リーグ戦計7試合中最少失点で勝利した。前年王者を破り完成に近づいたチームで全国の舞台へ向かう。

試合後、大村和輝監督（54）は「今日はハシユートが良くてボールに集まっていたとディフェンスの良さを称賛しつつも、「持っている力を全部出せたか」というまだまだいけるなという感じ」と試合直後ながら次を見据えた様相だった。（山本一貴）

ファイターズ  
52-7で  
関西大に勝利

体育会アメリカンフットボール部ファイターズは11月30日、ヤンマースタジアム長居（大阪市東住吉区）で行われた全日本大学選手権準決勝「長居ボウル」で関西大と対戦し52対7で大勝利した。この結果、2年ぶり58回目の決勝の舞台「甲子園ボウル」への切符をつかんだ。

試合は立ち上がりからファイターズのペースだった。第1クォーター（Q）3分にキッカー大西悠太選手（社会学部4年）がフィールドゴール（FG）を決めて先制すると、直後にディフェンシブバック（DB）永井慎太郎選手（法学部3年）がインターセプトを奪い、そのまま約50ヤードを走り切ってタッチダウン（TD）。

さらにクォーターバック（QB）星野太吾選手（社会学部2年）が自ら右サイドを抜ける53ヤードの独走TDを決め、17対0と一気に流れをつかんだ。

第2Qも攻撃の手を緩めなかった。QB星野選手からのパスをワイドレシーバー（WR）五十嵐太郎選手（経済学部4年）がエンドゾーンでキャッチしてTD。守備陣も関大オフェンスを圧倒し、24対0で前半を折り返した。

後半もファイターズが主導権を握り続けた。第3QにはWR百田真梧選手（国際学部3年）がQB星野選手からのロングパスを受けてTD。第4Qにはランニングバック（RB）平野日々輝選手（商学部2年）、RB永井秀選手（社会学部2年）のインターセプト。

そして終盤にもDB増田有亮選手（商学部1年）のインターセプトTDを加え、計4本を積み重ねた。関西大には途中で1本のTDを許したものの、試合全体を通して危ない内容だった。

パスとランで3TDを奪い勝利に貢献した星野選手は「ディフェンスが今日も流れをつくってくれた」と守備陣に感謝し、「細かな部分を詰めて続けてきた積み重ねが、今のチームの強さ」と語った。

決勝の甲子園ボウルは立命館大学との対戦。星野選手は「前回の勝敗は関係ない。自分たちのフットボールをやりきるだけ」と静かに闘志を燃やした。（田爪翔）



関西大のディフェンスを振り切った星野太吾選手



## 教授の背中

社会学部 中谷文美教授  
他者から学ぶ文化人類学の世界

社会学部の中谷文美教授は文化人類学を研究している。文化人類学は、文化を比較して人間の多様性と普遍性を研究する学問だ。中谷教授は文化人類学を「台合せ鏡」に例え、「他者の当たり前を知ることで、跳ね返って自分を理解するもの」と語った。

上智大学を卒業後、京葉教育文化センターで3年間務め、オックスフォード大学に留学した。京葉教育文化センターは東南アジアの国々との草の根交流を図る団体だ。通

訳として働くうちに、現地の人々の生活をじかに知りたくなり、オックスフォード大学で文化人類学を学ぶことを決意した。

中谷教授は現地調査を含む7年間の留学生生活を、「大学院に進学する前に働いた経験があったからこそ、学びたい理由がはつきりしていた。学びが当たり前じゃないことを感じた」と振り返った。

研究対象は、文化人類学、ファッション文化、ジェンダー論など幅広い。現在はオ



中谷文美先生11月13日、西宮上ヶ原キャンパス第1教授研究館新館、渡邊暖菜撮影

## 日進月歩

## クマ被害を憂慮する

10月から11月にかけて熊被害が東北を中心として全国各地で発生した。人が熊に直接襲われている被害も多発している。環境省によると、すでに今年の4月から10月末までの熊被害数は196人にのぼり、過去最多になった。死者数も最多であり、11月6日時点で13人だ。これは以前まで過去最多だった23年度の6人を大きく上回った。

熊が人里に下りていき、人が育てた力キやリンゴなどを

言語習得は容易でないが、バイリンガルではないからこそ完璧な習得を目指すと思

わず、言語を学ぶハードルを下げてくれたという。中谷教授は自身の経験から、言葉が通じると見える景色が変わる、と主張し、言語を学ぶことの大切さを強調した。

中谷ゼミは今年で2年目だ。「ファッション、装い」を共通テーマに定め、日常生活では出会わないものに触れるための学外エクスカージョンを定期的に催している。中

谷教授は、学生が新鮮な発見を通しやりのある調査に取り組みを促している。中谷教授は学生時代を「この先いつ訪れるかわからない、自分が自由にコントロールできる時間」と表現する。学生に対し、「人生はずっと忙しい。学生時代の時間の使い方は本来すごく独特なはずだから、大事にしてほしい」と語った。（八島みのり）

社会学部 金菱ゼミ  
震災の記録プロジェクト出版報告会

社会学部の金菱ゼミは12月2日、ゼミ生が被災者に聞き取りをしてまとめた書籍『大災害と相対的トラウマ』出来事がいかにその人に生きられてきたのか（ナカニシヤ出版、2025年）の出版報告会を行った。

本書は、ゼミ生が1年以上かけて行ったフィールドワークの成果をまとめたものだ。

報告会では、学生たちが実際に聞いた当事者の生の声や、エピソードから得られた知見が紹介された。

能登半島地震の被災者を対象に調査をした下山直誠さん（社会学部4年）は、「相対的トラウマは、震災による生活の小さな変化などが積み



金菱ゼミ出版報告会12月2日、久保田創士撮影

生協と総代をつなぐ場に  
総代交流会開催

関西学院大学学生協学生委員会（KGGI）は10月22日、関学生協の組合員の代表である総代との交流会を西宮上ヶ原キャンパスのロビンフッドプラスで開催した。一組合員の声を生協に直接届けようという趣旨のもと、今年度から始まった新企画の一環である。今回の交流会では、KGG



イベントの様子＝関学生協提供

Iが春学期に実施したアンケートで寄せられた学生の声をもとに、総代が利用者の視点だけでなく、運営者の視点から生協に関する改善策を考案した。参加者はグループワークを通じて、組合員の要望を深掘りした。

交流会の後半では、ポッキーとポッカサッポロの「じつくりコトコト」カップスープシリーズの試食会を実施した。人気投票によって決定したランキング結果は、生協ショップに掲示された。これらの商品は現在、店頭で販売されている。

報告会では、学生たちが実際に聞いた当事者の生の声や、エピソードから得られた知見が紹介された。

さらに、「トラウマに限らず、これからの人生を歩む上で違う視点で物事を見ることは重要だ」と既成概念を問い

直す姿勢の大切さを語った。社会が点を語るとき、人は線を生きている。このずれにこそ、声にならない痛みが潜んでいる。本書は、震災から生きる人だけでなく、震災と生きる人の思いにどれだけ耳を澄ませることができののかを問いかける、学生たちの実践である。（山須田優）



金菱ゼミ11金菱教授提供



# 動画配信ツール Panopto

## 秋学期から導入開始

関西学院大学教務機構は、2025年度秋学期から動画配信ツール「Panopto」の試行的な導入を開始した。本格的な導入は、2026年度からの授業スケジュール変更に伴い実施され、各教員の判断で、講義での活用が始まる見通しである。

Panoptoは大学や企業向けのクラウド型動画プラットフォームである。コロナ禍においては他大学での利用実績もあり、教育現場での利用が拡大している。

関学大においては、既存のZoom等と併用しながら、より多角的な講義運営を可能にする効果が期待されている。

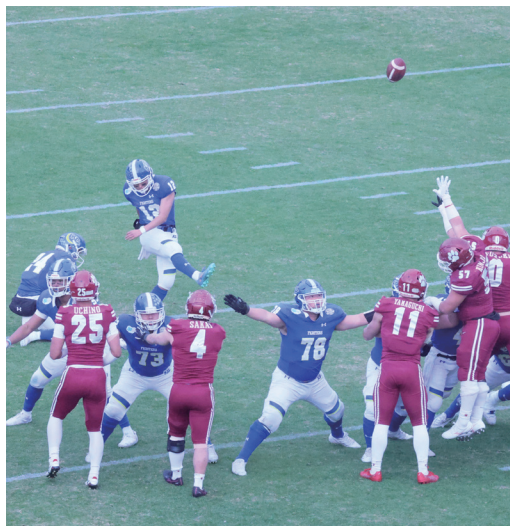
一方で、新しい制度への変更により、学生や教員の間で混乱が生じるリスクも存在する。特に来年度入学予定の学生はk-wic等の学内プラットフォームや履修制度を同時に理解する必要がある、負担が大きくなる可能性がある。こうした懸念を踏まえて、教務機構事務局は「学生の皆さんには、k-wic等を通じて定期的に情報を発信し、円滑な利用をサポートしていきたい」と語った。教員向けの利用説明会も複数回実施しており、学内への普及に向けた取り組みが進められている。

(松浦颯太郎)

# 第80回甲子園ボウル

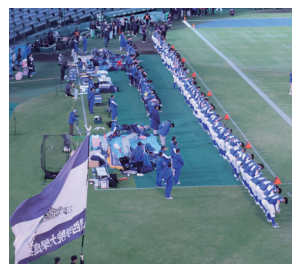
## ファイターズ優勝逃す

体育会アメリカンフットボール部ファイターズは12月14日、阪神甲子園球場（兵庫県西宮市）で行われた第80回



PATのキックを決める大西悠太選手=12月14日、阪神甲子園球場、山下結大朗撮影

毎日甲子園ボウルに出場した。アメリカンフットボールの大学日本一を決める試合の対戦相手は関西学生リーグで



試合終了後、一礼をするファイターズの選手たち

優勝を争った立命館大学パンサーズ。ファイターズは14対38で立命館大に敗れ、2年ぶり35度目の優勝を逃した。試合はファイターズの守備で開始した。序盤は立命館大のペースで進んだ。第1クォーター（Q）、ファイターズは2本のタッチダウン（TD）を決められ0対14と先制される厳しい立ち上がりになった。

第2Qはラインバック（RB）の井上晋之選手（社会学部4年）のTDから反撃に転じる。クォーターバック（QB）の星野太吾選手（社会学部2年）も続いてTDランを

決め、前半終了時点で14対21。流れを引き寄せたかに見えた。

しかし後半、第3Qおよび第4Qは調子を上げた立命館大がリードを広げるTDを決めつつ、守備面でもインターセプトを複数回成功。ファイターズは最後まで流れを掴めず、甲子園ボウル史上初となる関西勢対決を制することはかなわなかった。（山本一貴）

# タイスロップ 社会学部 福田雄准教授

## 慰霊祭・追悼式の社会学

「社会学という眼鏡をかけると世界の見え方が変わると思った。そう語るのは現在大阪大学大学院人間科学研究科に勤める福田雄准教授だ。2000年に関西学院大学社会学部に入社。学部時代は大村英昭教授の授業を受け、社会学に魅了された。卒業後はいったん就職し、3年間サラリーマンとして働いた。

しかし、社会学で自分の違和感や疑問を言語化できるのではないかと漠然とした期待を抱いていた。そして大村教授が定年を迎える前に大学院で社会学を学びたいと

考え、進学を決意した。大学院受験を控えた1年前に祖父が亡くなり、相次いで祖母も亡くなった。父が牧師であったため、葬儀はキリスト教式だった。

一方で、参列者の多くはクリスチャンではない。家族だけでなく、家族以外の様々な人たちの葬儀の形を父と模索した。「キリスト教式でありながらも、クリスチャン以外の人たちも一緒に参列することができる葬儀をつくりたい」という思いからだった。この経験から、社会学で死者を悼んだり弔ったりすることに関心

異なるという。しかし共通するのは、あの死は無駄ではない、意味があると思いたいという人々の思いだった。

死や苦しみや意味を与えることはファンタジーや幻想かもしれない。しかし、それは生きていくために必要な物語なのだという。「人は偶然の死や不幸に何か意味があるんじゃないかと思いたいし、思わないと生きていくのは難しい。一瞬で多くの人が死ぬことがもたらす出来事の意味を模索する場のひとつが、慰霊祭や追悼式なのではないかと考えた」と語る。

昔と今の長崎、またインドネシアと日本では、儀礼そのものも、語られる言葉とその対象も、生と死の意味づけも

この意味を完全に理解したわけではない。しかし、「何のために生き何のために死ぬのかを、自分なりに少し言語化することができた」と振り返る。

最後に学生へ向けて、「学

生の時期は、気になるところに行き、話したり書いたりすることで考えたことを分かち合うことが最も自由にできる。若いうちにそれをたくさんしてほしい」と語った。

(山須田優)



福田雄准教授11月19日、大阪大学大学院人間科学研究科、山須田優撮影

# 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

## ● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・  
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

# 三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード